vinetur

# Krug、ライブ音楽を軸にした3回の一般向けシャンパーニュ試飲会のためLarrabee Studiosを開放

ロサンゼルスのイベントでは、来場者が自身の反応をもとに生まれるライブ演奏の中でKrugのキュヴェを試飲する。

2026年9月14日（月）




Krug Champagneは月曜日、ロサンゼルスのLarrabee Studiosを今月、限定公開の3回のセッションのために開放すると発表した。各回は、シャンパーニュの試飲、ライブでの音楽制作、そして市内でも有名なレコーディング施設の一つで行われる複数コースのディナーを組み合わせる。

イベント名は「The Art of Blending Krug & Sound at Larrabee Studios」で、開催日は9月28日、9月29日、9月30日。LarrabeeのStudio 6で行われる。会社によると、毎晩少人数のゲストがスタジオに招かれ、さまざまなシャンパーニュに対する反応をもとに、部屋にいるプロデューサーたちが

リアルタイムで作曲するオリジナル楽曲の土台となるガイド付きテイスティングが実施される。

Krugによれば、セッションのホストはグラミー賞受賞プロデューサーでLarrabeeのオーナーでもあるManny Marroquinに加え、プロデューサーのScott Tibbs、Nick Rosen、Mike Bennettが務める。会社は、参加者がワインを味わいながら口にする感情、記憶、印象を手がかりに、プロデューサーたちがその夜のあいだ一時的なサウンド・コンポジションを組み立てるとしている。Krugによると、その結果は各回を互いに異なるものにすることを意図している。

テイスティングの中心はLes Créations de 2013で、音楽パートではKrug 2013とKrug Grande Cuvée 169ème Éditionが主に使用されるワインとなる。VERSEのChef Oscar Torresが複数コースのメニューを用意し、Krug Grande Cuvée 173ème ÉditionとKrug Rosé 29ème Éditionを含む追加のボトルとペアリングする、と同社は述べた。

発表に合わせて出された声明でMarroquinは、スタジオは長年、協働を通じてアイデアが育まれる場所であり、Krugとの提携はゲストがその創造的プロセスに参加できるようにするものだと述べた。KrugのChef de Caves Julie Cavilは、このプロジェクトは音楽が味わいや感情を別の表現形式へと翻訳する仕組みを探るよう設計されていると語った。

同社はこの体験を、音楽とシャンパーニュのテイスティングを結び付ける長年の取り組みの延長として位置づけている。Krugによると、同社は何年にもわたり音楽家や作曲家と協働し、音が味、気分、知覚にどう影響するかを研究してきたとし、作曲家Max Richterとの以前のコラボレーションなどを挙げた。Larrabeeでは、試飲中に音楽を流すだけでなく、ゲスト自身を音楽の創作に参加させることで、このコンセプトをさらに進めていると同社は述べた。

予約は9月14日に予約プラットフォームTockで販売開始となった。Krugは発表で料金を明らかにしなかったが、各夜の座席数は限られていると述べた。セッションは、長年にわたる高い評価の音楽制作で知られ、音響にも定評のあるLarrabeeのStudio 6にゲストを案内することを目的としている。

このイベントは、高級ホスピタリティ業界におけるより広い潮流にも合致する。そこではブランドが、従来の試飲だけでなく、アクセスや参加そのものを売ろうとする傾向が強まっている。稼働中のレコーディングスタジオにプログラムを置き、ライブの創作プロセスと結び付けることで、Krugはそのシャンパーニュを、独自性、パフォーマンス、感覚的解釈を軸にした体験に結び付けている。

3回の9月のセッション後も、Krugによるとこのコラボレーションは近隣のレストランVERSEとMensanoで1カ月続く。Torresシェフは、スタジオでの夜を着想源にしたKrug Grande Cuvéeのペアリングプログラムを提供する予定で、プライベートセッション終了後にこのプロジェクトをレストランの場へと移す。

Maison Krugは1843年、Joseph Krugによってランスで創設された。現在はLVMHグループ傘下にあるこのシャンパーニュ・ハウスは、区画、ヴィンテージ、リザーブワインにわたるブレンドをアイデンティティの中核として長く重視してきた。発表で同社はこの哲学をLarrabeeのプログラムと結び付け、個々の印象を一つの音楽作品にまとめ上げる過程が、シャンパーニュ造りでさまざまな要素を組み合わせる方法と重なると論じた。